# 正しくお使いください

下記はセーフティレーザスキャナを選定していただくためのガイドであり、
ご使用に当たっては必ず商品付属の取扱説明書をお読みください。

## 法規・規格について

1.形OS3101単体では、労働安全衛生法第四十四条の二による「型式検定」には申請できず、システムでの申請が必要となります。したがって、本製品を日本国内で同法第四十二条で定められた「プレス機械又はシャーの安全装置」として使用する場合には、システムで検定を受けていただく必要があります。

2.(1)本製品は、EU(欧州連合)機械指令附属書IV B.安全部品 第1項で指定される電気感知式保護装置(ESPE：Electro-Sensitive Protective Equipment)です。

(2)本製品は、以下の法規、規格に適合しています。

①EU法規
- 機械指令　98/37/EC
- EMC指令　2004/108/EC

②欧州規格　EN61496-1：2004(タイプ3 ESPE)、EN61496-3：2001(タイプ3 AOPDDR)

③国際規格　IEC61496-1：2004(タイプ3 ESPE)、IEC61496-3：2001(タイプ3 AOPDDR)

④北米規格　UL508、UL1998
CAN/CSA 22.2 No. 14、
CAN/CSA 22.2 No. 0.8、
CAN/CSA 22.2 No. 205

⑤JIS規格　JIS B 9704-1：2006、JIS B 9704-3：2004(タイプ3 ESPE)

(3)本製品は、EU公認機関TÜVラインランドから以下の認証を取得しています。
- 機械指令に基づくEC型式試験
  タイプ3 ESPE(IEC61496-1)、
  タイプ3 AOPDDR(IEC61496-3)
- TÜVラインランド型式認可
  タイプ3 ESPE(IEC61496-1)、
  タイプ3 AOPDDR(IEC61496-3)

(4)本製品は、第三者評価機関ULより以下の認証を取得しています。
- 米国およびカナダ安全規格に対するリスティング認証
  タイプ3 ESPE(IEC61496-1)、
  タイプ3 AOPDDR(IEC61496-3)

## 安全上のご注意

**安全に使用していただくための表示と意味について**

本カタログでは、セーフティレーザスキャナ 形OS3101(以下形OS3101と呼びます) を安全にご使用いただくために注意事項を示しています。ここで示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載しています。必ず守ってください。

**製品を落下させないでください。**

## ⚠ 警告

**管理者は、その責任において、機械・防護装置の適切な設置、操作、メンテナンスを行う担当者を選任し、訓練してください。**

**形OS3101の設置、確認、メンテナンスは、必ず管理者が行ってください。管理者とは、「専門的訓練を受けたことを証明する学位または証明書を持つ者、または広範囲に及ぶ知識、訓練または豊富な経験によって、特定の事柄や作業に関する問題解決能力が実証されている者」(ANSI B30.2-1983)を指します。**

**形OS3101の安全な使用、設置、メンテナンス、操作が確保されて初めて、形OS3101の特定用途および設置の安全基準が遵守されたことになります。これらの項目については、本製品をご購入いただいたお客様、設置者、雇用側で十分な確認を行ってください。**

**設定完了後、まず機械の危険源を動作させずに、防護エリアと警告エリアが正しく設定されていることをテストしてください。**

**形OS3101を分解しないでください。本来の安全機能が失われ危険です。**

**形OS3101を使用する場合は、必ず以下の要件を遵守してください。**

- **保護下にある機械は、そのサイクル内で随時停止できなければなりません。フル回転クラッチを装備したプレスに形OS3101を使用しないでください。**
- **形OS3101は飛来物に対して人体を防護することはできません。別途覆いまたは、囲いを設けてください。**
- **防護対象の機械は、停止に要する時間が一定していて、適切な制御機構が装備されていなければなりません。**
- **煙や粉塵があると、形OS3101が正常に検出できなくなり、突然機械が停止状態になる可能性があります。**
- **防護エリアの一部を検出できなくなる可能性があるため、防護面に鏡面状の物体を使用しないでください。**
- **該当する各国、各地の安全関連の法律、規制などすべてを遵守しなければなりません。これは雇用側の責任です。**
- **安全関連の機械制御要素は、制御回路等の故障によって危険状態にならないよう設計してください。**
- **形OS3101に検知されずに危険領域へ接近可能な場合は、追加の防護策が必要です。**
- **設置時や防護対象の機械に変更が加えられたり、形OS3101の設定変更がされた場合には、取扱説明書に記載のテストを実行してください。**
- **テストおよび修理手順は、取扱説明書記載の手順で実施してください。**
- **取扱説明書をよく読んで、設置手順、動作確認手順、およびメンテナンス手順を十分にご理解の上ご使用ください。**
- **背景の種類によっては、計測誤差を追加する必要があります。**